

2014. 09. 19

アートによるライソゾーム病に対する理解を深めるためのプログラム「Expression of Hope III」の開催を発表

2014. 09. 19

本資料は、2014年9月9日（米国時間）にジェンザイム社が発表したプレスリリースを翻訳・編集したものです。原文（英文）と翻訳に相違がある場合には、その内容および解釈については原文が優先します。原文（英文）は、ジェンザイム社のサイト(www.genzyme.com)からご覧いただくことができます。

2014年9月9日（米国時間）ジェンザイム社プレスリリース

サノフィ・グループの一員である Genzyme（サノフィ社（EURONEXT : SAN および NYSE : SNY）の一員；以下、ジェンザイム社）は本日、ライソゾーム病（LSD）コミュニティの方々によるアート作品を通じた気づきとひらめきのグローバルプログラム「Expression of Hope III」の開催を発表しました。このプログラムでは、稀少な遺伝性疾患であるライソゾーム病とともに生きるすべての方を対象に、ライソゾーム病と生きる中での経験や想い、未来への希望 HOPE をアートで表現していただき、応募していただくものです。3度目の開催となる「Expression of Hope」を通して、ジェンザイムは世界中の患者団体と協力し、ライソゾーム病に対する理解を深め、ライソゾーム病患者さんの支援の輪を広げていきたいと考えています。

ジェンザイムのペイシェント・アドボカシー バイス・プレジデントであるジェイミー・リングは、「ライソゾーム病と診断され、患者さんやご家族は孤立感を抱くことが多いです」「『Expression of Hope』を通して、ご家族やお友達、ケアギバーの方なども含めたライソゾーム病とともに生きるすべての方が、アートの持つ力を利用して自らの経験を社会と共有していただきたいと思っています。私たちの目標は、アート作品を通じてより多くの方々にライソゾーム病について知っていただき、ライソゾーム病の患者さんを支援するための取り組みに参加していただくことです。」と語りました。

「Expression of Hope」は、患者さんやご家族、お友達、ケアギバーの方々や医療従事者など、ライソゾーム病とともに生きるすべての方々に参加していただけます。応募いただく作品は、絵画、写真、スケッチなどの紙またはキャンバス上のオリジナルの作品とさせていただきます。

「Expression of Hope」についてのより詳しい情報と応募方法については、www.expressionofhope.com（英語のみ）をご覧ください。応募締切は2014年12月5日（金）です。